





イ 中学年の取組 第4学年

(ア) 授業実践のポイント

単元名	マット運動
単元のゴールの姿	自己の能力に適した課題を見付け、課題を解決するために考えたことを友達に伝えたり、友達の考えを認めたりしながら、運動に進んで取り組むことができる。
本単元で働かせる見方・考え	回転系や技巧系の技の動きを「する」、友達の動きを「見る」、友達と協力したり助言したりして「支える」、技のポイントや体の動かし方を「知る」といった運動の多様な関わり方で、マット運動の喜びや楽しさを味わうこと。
仮説1について	(体育の「見方・考え方」を働かせる学習過程や学習活動の工夫) ・自分や友達の動きを動画で撮影することで、自分の課題に視覚的に気づけるようにしたり、友達の課題解決のためにアドバイスをしやすくしたりする。 ・技の難易度を点数で表すことで、自己の能力に適した技を選んで組み合わせられるようにする。

(イ) 授業の実践 (本時5/6)

進	学習活動と主な発問 (T)	教師の支援 (・) と子どもの反応 (C)
導入	1 課題をつかむ。 ① 準備運動 ② 本時のめあてを確認する。	C: 回転技と倒立技を組み合わせよう。 ・技のポイントを電子黒板で視覚的に確かめることで、ポイントをおさえて友達にアドバイスをしよう声かけを行った。
	【めあて】組み合わせ技をより良くするために、友達とアドバイスし合おう。 <学習課題>組み合わせ技をより良くするためには、友達にどのようなアドバイスをすればよいだろうか。	
展開	2 課題解決に向けて活動する。 ① 自分に合った場で苦手な技に挑戦する。 T: 自分の苦手な場所に合った場所で練習しよう。 T: 組み合わせ技をするために、自分に合った技を選ぼう。 ② 組み合わせ技に挑戦し、友達にアドバイスをする。 T: タブレットで順番に撮影しよう。 T: 技のポイントを確認しながらアドバイスをしよう。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【学びの姿】 基本的な技を組み合わせ、技のポイントを確認しながら、友達の課題解決のためにアドバイスをしていた。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ロイター板などを活用して、課題解決のための場づくりをした。  <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">坂道を使って苦手な後転に挑戦しよう!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の動画を例に、アドバイスの仕方を確認した。  <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">私なら、「側転は手と足を一直線につくといいよ」とアドバイスしようかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・撮影する役を交代で回し、全員が友達にアドバイスができるようにした。  <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">もっと脚を開いてひざを伸ばすといいよ。</p>  <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">手でマットを押して立ち上がるといいよ。</p>
終末	3 振り返りをする。 T: 友達にどんなアドバイスができたかな?	C: 脚を大きく開くといいよとアドバイスできました。 C: 友達からもらったアドバイスを生かして、次の発表会を頑張りたいです。

(ウ) 考察

- ・ICTを活用することで、自分や友達の課題を視覚的に捉え、解決に向かうことができていた。
- ・技の難易度を点数化したことで、苦手な技にも挑戦しながらできるだけ高い点数を目指して技を組み合わせようとする姿が見られた。